



第38回関東アマチュアゴルフ(国産C.C.)

## 目次

ゴルフはコミュニティのゲーム.....1 千葉カントリークラブ理事長 佐々木 秀一	ルールQ & A.....18 日本ゴルフ協会規則委員長 浜口 五郎
昭和61年度関東アマチュアゴルフ選手権競技.....4 観戦記 杉山 通敬	理事会・委員会.....20
昭和61年度関東女子ゴルフ選手権競技.....7 観戦記 宮元 昭雄	実施規定.....22
昭和61年度関東倶楽部対抗予選競技.....11	JGAハンディキャップのすすめ.....25 関東ゴルフ連盟 ハンディキャップ委員会
春季ジュニア教室 盛況裡に開催さる.....16	月例競技成績表(昭和61年3月・4月).....27
	コースレポート、お知らせ.....28

# ゴルフはコミュニティのゲーム

千葉カントリークラブ理事長 佐々木 秀一

聞き手・KGA広報委員 杉山 通敬



めにやったわけですが、その後、話しがスムーズに運びましたから、ゴルフはひとつのコミュニティといえますか、お互いの気持ちを解り合うには非常によいゲームだと思ったわけです

——なるほど、ずい分とユニークな体験をされましたね。で、その交渉相手の会社とはその後、いかがですか。

「いまでもお付き合いしていますよ。そんなわけで帰国のときにクラブを買って、やるようになったわけです。ちょうど千葉カントリークラブが設立されたころでもあって、これからはゴルフをやればなにかとお付き合いもひろがるのではないかと、思っていますね、入会したわけです」

——理事長におなりになったのは？

「さて、いつでしたかね、もう10年以上になりますかね(秘書の方に調べてもらおうと昭和50年から)。茂木敬三郎さん(元キッコーマン醤油社長)という立派な方の後を継がせていただいたわけですが、茂木さんもやはり10年ほど理事長をやっておられた。ご存知だと思いますが、以前、ごたごたがありましてね、ちょうど東京オリンピックの年です。高石眞五郎さん(同クラブ発起人代表)が、非常に心労され、茂木さんを説得して、理事長になっていただいたわけですが、そのとき、高石さんが仰言ったことが非常に印象に残っています。日本ではプレーするだけがゴルフだと思ってるようだが、イギリスやアメリカではプレーもさることながら、会員同志のコミュニティをそれより以上に大事にする。ゴルフはコミュニティのゲームだって。茂木さんは理事長になることを決っておられたんですが、高石さんのその言葉を聞いて、それでは、という気になってくださったわけです。ですからわたしも、そうした先輩方が残してくれた“伝統”をしっかり守っていきたいと思っています」

——まず、理事長のゴルフ歴からお聞かせ下さい。

「わたしとしちゃ3回目の渡米、昭和29年に仕事のことシカゴの北、エリー湖の近くにトレードというところがあるんですが、そこで交渉事をやっていたわけです。ところが意見がまとまらなくなりましたね、話しが先へ進まなくなっちゃったんです。そしたら、向うの人がどっちの意見を取るか、ゴルフで決めようじゃないか、と言う。近くにショートコースのゴルフ場がありましてね、120かそこのショートホールを選んで、ピンにいちばん寄った人の意見を採用しようじゃないかって。ま、ジョークでしたけど、ゴルフというのはこういう利用のし方もあるのかと思いましたよ」

——で、理事長の“成果”はいかがでしたか。

「打ち方ぐらいはどうか教えてもらい、打ったところ、グリーンには乗りませんでしたけど近くまでいきましたね。拍手喝采というところでした。ま、あくまでもジョークで、行き詰った交渉を解きはぐすた

——クラブ運営、例えば各種委員会のあり方などになにか独自のものがありますか。

「独自かどうか分かりませんが、理事にしろ委員にしろ特権を持たないようにすることじゃないかと思っています。いろいろな方がおられるわけですが、大別すると3種類になると思うんですね。競技を楽しむ人、クラブ対抗の代表選手になるような人やクラブチャンピオンのようなクラブ競技で自分の実力を発揮しようとしている人、そういう競技メンバーといった人たちがひとつ。それから一般社会で言ったら高い地位についておられるような方で、見識の高い方、有識者って言ったらよいでしょうかね、そういう方がいる。そして純粋に（と言ったら語弊があるかもしれませんが）、ウデのほうはともかくとしてもゴルフを楽しむ方ですね。大別すると、そういうふうな3種類のメンバーに分けられると思うわけですが、その、それぞれから代表者を選ぶようなかたちで理事会なり、各種委員会を構成してらるんです。そして、理事長、会長以外は定年制にしています」

——ほう、委員の定年制ですか。

「ええ、70才もしくは10年以上、お務めいただいた方にね。いちおう“現職”をリタイアしてもらい、理事会とか委員会とは別に評議会を設けて、そちらのほうでご協力をいただくようにしているわけです」

——評議会の職掌とか、役目はどういうものになっているのですか。

「諮問会みたいなものです。たとえば、クラブハウスの建直しとか、コースの改造といったクラブとしては“画期的”な事業を起こすようなときに、諮問するわけです。なるべく幅広く、偏向しないように会員の意見を反映して、コミュニティの場を充実していきたいと思っておりますので、そんなふうにして、なるべく多くの会員の皆さんからご意見をうかがえるようにしているわけです」

——千葉カントリークラブの場合、野田、梅郷、川間と3コースあるわけですが、特定のコースにメンバーが集中するようなことはありませんか。それに委員さんにしても、3コースにまんべんなく目をとどかすというのも大変だと思うんですけど……。ま、ある意味では“持てるものの悩み”になるんでしょうが。「野田と梅郷が18ホールずつ、川間が27ホール、会



員数は3,400名ですから、18ホール単位にしますと、1,000名を切るわけです。3コースのうちどこかに集中するといっても皆んなが皆んなそのコースに行くわけではないですから……。一応、日曜の場合は野田と梅郷がメンバーさんだけ、川間は会員同伴でピジターの方をお受けするというにしています。委員会のほうは副委員長を3名にしまして、それぞれ3コースの担当を決めてらるんです。支配人もそれぞれにおりますから、目がとどかないというようなことはありませんよ。なにしろ会員数が少ないですから、8月とか冬には来場者がガタンと減るわけで、この時期は会員の家族を優待というか、特別料金でともども楽しんでもらうようにしています」

——理事会と会社との関係はいかがですか。

「政治と一緒にするのもなんですが、自民党と同じようなもので総理総裁は同じ。つまり理事長と会社の方の社長は同じ、理事長が社長ということになっていて、しかも理事のうち半数の方は会社の役員になっていますから、クラブ運営と会社経営は一体のものと思っていいんじゃないでしょうかね」

——最近、多くのクラブで頭を痛めてる問題に、いわゆる暴力団関係の人の来場（あるいは入会）、それからスロープレーがあるのですが……。

「そっちの方（暴力団関係）は会員の同伴なり、入会の場合は紹介があるわけで、仮りに来場（入会）すれば紹介者の責任になりますよね。それに千葉カントリークラブの場合、特別委員会がありまして、いえ、別に特別だからエライとかなんかということじゃないですよ。財務委員会と入退会委員会、それにパブリック委員会（これは越ヶ谷にパブリックコースをもっていますので、そっちのほうの関係ですか）、3つの特別委員会があって、このなかの入退会委員会というのが新入会員の国籍その他を審査してるわけですね。今まで問題になったようなことはあまり起きてません。国籍にしてもメンバーのうち、5パーセントは外国籍の方をお受けしようということになっているんです。もちろん、推薦者や理事の承認が必要ですけど、ゴルフはもう、国際的なスポーツですよ。最初に申しましたように、ゴルフはコミュニティのゲームでもあるわけで、実はわたしどもの会社（佐々木硝子株式会社）のアメリカ駐在員が名門“インパネス”の会員に推され、アメリカ人でもなかなか入れないというのに、メンバーにさせていただいています。わたしがゴルフを始めたころは、日本のコースですら、米軍に接収され、垣根越しに彼ら

がプレーしてるのを眺めてるような状態でした。そのことを思うと隔世の感がありますが、これもゴルフが人間同志の気持ちをなごましてくれるコミュニティのゲームだからじゃないでしょうかね。クラブ運営のうえでも、わたしはこのことを大事にしていきたいと思っています」

——ところで、最近、プレーのほうはいかがですか。

「週に1回はやるようにしています。ハンディは21（最高時は14）ですが、どなたともご一緒させてもらっています。ほかの会員もそうですが、最近“組”を決めずに来た人と、その場でパーティをつくって回る会員が多くなってきたようです。これは喜ばしいことだと、わたしは思っています。何回も言うようですが、ゴルフはコミュニティのゲームですからね。派をつくったり、誰かが特権をもったりしちゃまずいです。その意味からも会員の皆さんが、ブラットと一人でいらして、どなたともオープンにプレーなさるのは、結構なことですよ」

——理事長ご自身も。

「ええ。しょっちゅうじゃないですけどね。今日は理事長が来てるから、ひとつ一緒に回りましょうなんて、言われることがありますよ」



## 昭和61年度関東アマチュアゴルフ選手権競技

●開催期日 6月10～12日 ●開催コース 筑波カントリークラブ



▲武内大会副会長より優勝権を受けニコッリする阪田選手。

観戦記 杉山 通敬

### 並ばれた直後の「阪田の実力」

前置は省くこととして、第4ラウンドの首位攻防戦をまず書くことにする。第3ラウンドを終って阪田哲男が215で1位、川岸良兼、深堀圭一郎が218で2位、鹿窪一郎が219で4位だった。最終組は阪田、深堀、鹿窪。前の組に川岸がいたが、2番のロングホール(548m)でOBを出し、9を叩いたので早々に優勝戦線から脱落、優勝争いは最終組の3人に絞られた。

1番で深堀がセカンドを1.5mに乗せてパーディを獲る。つづく2番でも第3打のアプローチを30cmにつけ、これもパーディ。3ストロークの差が、2ホールを終ったところで1打差になる。3番は375mのやや左トグレグしたミドルホールだが、オーナーの深堀が会心の1打でフェアウェイのセンターへ飛ばしたのに対し、阪田のティショットははっきりとミスとわかるトップで、左サイドのラフに飛ぶ。セカンドは右のラフ。ピンまで40mほどのアプローチが残った。この試合用にラフを伸ばしてあったから「寄せ」は短い距離からでもむずかしい。インパクトのパンチが利きすぎたようで、阪田のアプローチは6m近く(彼の歩幅で8歩)、オーバーした。一方、深堀のセカンドも「フケ球」で、右のバンカーへ入れる。バンカーショットは3mほどショートする。両者2パットでボギー。鹿窪は2番でアプローチを50cmたらずに寄せ、パーディを獲り、あとはパー。したがって阪田とは2打、深堀とは1打差につけていた。勝負はまだ渾沌のなかにあったと言ってもよい。

4番は183mのショートホール。オーナーの鹿窪は右のバンカーへ。つづく深堀はピンヘストレートに飛ばし、彼の歩幅で6歩半手前に乗せる。いいショットだった。3番手は阪田。またしてもトップ気味の当りて、いったんグリーンの左側に乗ったボールはゴロゴロとグリーンを通り抜ける。オーバーだ。鹿窪のバンカーショットは3mほどピンをオーバーし、2パット(ボギー)。阪田はアプローチをピンに当てるほどだったが、強すぎたために、あれて2m近くのパットが残ったであろうか。そのパットを左へ外す。連続ボギーである。深堀は「6歩半」を2パットで取る。かくて4ホール(通算58ホール)終わったところで、阪田と深堀が首位に並び、鹿窪が2打差で追う展開になった。勝負はますます渾沌のなかにあるように思われた。

「ゴルフは並んだときがいちばん難しくなる」

試合後、阪田はそう言っていたが「難しくなる」という言い方は、自分に対してではなく、若い深堀に対する洞察をはたらかして言ったコメントであろう。深堀は明大中野高校の3年生。今年の春にアジア大会の代表候補選手のひとりとして阪田とともに合宿練習をし、コーチを受けた仲である。「たった数カ月で見違えるようなゴルフをするようになっていた」と阪田は評価していたが、両者が「並んだ」時が、勝負の岐れ道になった。

5番(334m)は距離こそ短いミドルホールだが、フェアウェイの中央に松の木がそそり立っているの、ティショットの狙いどころがむずかしい。深堀はその松の方向へ飛ばしたものの、距離が出たので松の先まで飛ぶ。止ったところは松を囲むラフの中。鹿窪の1打は松の手前。ピンを狙うラインに松がかかる。阪田は久かた振り、と言ってもいいような「会心」の1打で松の右側に飛ばす。セカンドは鹿窪から、ラインにかかる松を避け、低いボールでグリーンの右サイドへ転がし上げる。ナイスオンだ。つぎに阪田が打つ。いい当たりだった。ピンへ2mほどに乗せる。最後に深堀が打つ。空中に舞い上ったボールは、あとひと飛びのところで手前のバンカーに消える。そのバンカーショットが阪田が乗せたボールの背後

に止まる。鹿窪は長いパットを2つで入れる(パー)。ついでパーセーブのパットを深堀が外す。深堀が外したラインを参考にでもするかのよう、阪田が2mのパーディを決める。

並び、並ばれた深堀と阪田は、その直後にボギーとパーディで再び2打差がついた。

「4番で並ばれて、気が引き締まった」

と阪田は言う。ティショットはフェード。セカンドはハイピッチ。パットは深堀がラインを見せてくれた。すべてが好転していく前兆だったと言える。あとは阪田の「1人旅」だった。特にインに入ってから、ミスらしいミスはひとつとしてなかった。強いてあげれば14番(521m)の2オン狙いのセカンドをスライスさせて右のバンカーへ入れたショットと、17番でパーディを獲ったことで「足の力が急に抜けた」という18番のセカンドを「コス」ったぐらいなもの。といってもその2ホールともパーオンさせ、2パットで取めたのだから、スコアの上では「ミス」にはなっていない。

終わってみれば2位グループ(3人タイ)に7打という大差をつけての「楽勝」だった。

### ペナルティ3題

今年の関東アマではルールの問題(というか選手の不注意)が2、3あったので、今後のために紹介

しておこう。現実には起こったことではあるが、仮名にする。

ケース1。A、B、Cの3選手がともにグリーンにボールを寄せ、マークしたうえでそのボールをキャディに拭いてもらった。キャディは3バックだったから、3者共有のキャディになっていた。拭いてももらったボールを手渡されたAが、まずパットした。つぎにBがパットしようとした。ところが手渡されたボールが「自分のものではないことに気づいた。キャディにその旨を言い、自分のボールにかえようとしたが、もうひとつはCのボールだった。念のため、すでにパットしたAのボールを見ると、それがBのボールだった。即ちAはBのボールを「誤球」したわけである。その結果、Aは誤球の2打が付加された。

ケース2。あるショートホールで、Xが第1打を打ったところ、グリーンをオーバーしラフに入った。OBかもしれない。あるいはロストボールになるかもしれない。が、セーフの可能性も多いし、ロストにならずにすむかもしれない、と思い、ティから離れグリーンへ向った。ところが、もう一度、思い直してティに引き返し、別のボールを打った。現場に行くグリーンをオーバーしたボールはセーフだったし、したがってロストでもなかった。Xは最初に打ったボールと打ち直したボールとどちらを「正球」にしたらよいか、判断しかねたので、2つのボールをプレーしてともにホールアウトし、委員の裁定にしたがうことにした。

ケース3。あるホールでYはボールをサブグリーンに乗せたので、ボールを拾い上げ、ドロップしたうえでホールアウトしたのだが、競技特別規則以外は日本ゴルフ協会ゴルフ規則が適用されることになっていたし、特別規則にはYが処置したことに該当するような規則は定められていなかった。したがってYは誤所からのプレーをしたことになり、一般の間2打を付加して、そのホールのスコアとした。

以上の3例に対して、競技委員会がどのような裁定をしたかについては、別の機会に紹介することになろうが、いずれにしてもちょっとした不注意からペナルティを付加されたわけ、本人にとっては悔まれたことであらう。

(文中敬称略)



▼第4ラウンド15番ホール(P3) ナイスオンの阪田選手。

▲2位タイに入賞したジュニア出身の米山選手。

### 昭和61年度関東アマチュアゴルフ選手権決勝競技成績表

参加者163名 6月10日(火)～12日(木) 於：筑波カントリークラブ

順位	選手名	所属	1R		2R		3R		4R		合計
			O	I	O	I	O	I	O	I	
優勝	阪田哲男	袖ヶ浦	36	36	41	32	38	32	37	33	285
2	伊沢利光	上越国際・十日町	38	39	41	33	35	34	39	33	292
2	米山 剛	鳥山城	34	37	37	40	34	38	37	35	292
2	鹿塚 一郎	セントラル	35	35	35	38	38	36	35	38	292
5	深堀圭一郎 (以上入賞)	関東ジュニア	32	38	37	38	35	33	36	42	296
6	堀越栄治郎	相模原	37	38	38	36	37	34	37	37	297
6	川岸良兼	鳥山城	38	36	38	35	35	36	41	38	297
8	大友富雄	塩原	39	38	39	35	37	38	37	37	300
9	鈴木 亨	日大	41	37	37	41	37	34	31	35	301
9	丸山茂樹	土浦	35	40	35	38	39	37	37	37	301
9	北川裕規	日大	33	36	39	43	36	44	30	34	301
12	石井孝一	上総富士	39	37	36	39	35	40	37	35	302
12	芥沢大介	鳥山城	36	38	37	38	35	38	41	39	302
12	小川 透	岡部チサン	38	38	36	38	36	34	40	34	302
15	秋山市朗	大熱海国際	36	39	43	38	31	36	36	37	303
15	和田雅英	東京五都市	37	38	35	43	37	38	39	37	303
15	上杉好秀	富士チサン	40	36	38	36	37	37	34	39	303
15	森永正隆	武蔵	36	41	37	36	41	37	33	39	303
15	山内宗広	東京五都市	37	42	39	38	37	35	34	39	303
15	依田祐輔	日大	37	39	35	39	34	36	39	35	303
15	森・茂男	立川国際	37	38	35	39	35	39	39	38	303
15	嶋田善人	青梅	39	39	38	36	35	37	39	36	303
23	五十嵐唯郎	東京五都市	36	39	35	39	37	36	39	37	304
23	野上浩一	日大	38	35	33	38	36	37	34	42	304
23	高安信行	セントラル	36	39	35	37	36	33	41	37	304
23	大竹 徹	高根	40	40	35	37	32	35	41	36	304
27	北島泰介	日大	37	39	36	37	39	36	35	40	305
27	亀ヶ谷 修	東名厚木	36	37	40	40	40	41	38	39	305
29	星野正治	武蔵野	38	40	36	40	36	33	37	42	306
29	岡庭正春	鎌ヶ谷	36	38	34	39	39	38	37	34	306
31	宮 辰夫	習志野	39	40	39	40	37	37	39	38	307
31	安間肇浩	東京湾	40	40	37	39	36	37	38	35	307
31	青山裕之	日大	41	38	39	38	37	36	37	40	307
31	浅川 康彦	武蔵	37	39	36	38	41	39	37	38	307

(以上決勝ラウンド)

### 昭和61年度関東女子ゴルフ選手権競技

●開催コース 千葉県、柏ゴルフ倶楽部 全長 5,783メートル パー-74  
●開催期日 5月28日・29日 36ホール、ストロークプレー

観戦記 宮元 昭雄

#### 高橋良江選手(嵐山)が優勝

——初日、ホール・イン・ワンで花を添える——

『恐ろしい人だわ、この人って』クラブハウスはまるで蜂の巣をつ突いたような賑やかさである。初日アウト6番、163mのショートで見事ホール・イン・ワンをやったの、3アンダー-34、ダントツの高橋選手の周囲にはベテランの仲間たちが集ってのゴルフ談議に花が咲いていた。

『スタートから緊張の連続でした。こんな気持ちでのゴルフは本当に久しぶりです』と興奮を自ら静めるかのように絶不調と嘆くパットの打ち切れない歯痒さをしきりと話題にしている彼女だった。

初日、1番から3ホール連続してむずかしいパットを拾い続けたものの出足からいまいちとつ歯切れが悪い、4番パーディーそして6番ではエースが飛び出てやっとなり切れたという。『クリークで軽く流したのが、うまく入ってくれました』公式戦で2度目の快挙だという本人は『どうしたらいいの』と周囲の騒ぎをよそに当惑しきり。

決勝大会にふさわしいコース整備、ホールの難易度を高めるためにピンプレイスはマウンドを利用したところに設定され、シード組の選手たちもいちょうにパットのむずかしさを嘆いていた。

前半トップの高橋を追って午後に入り吉沢キミ子(セントラル)が地力を発揮して激しく追いあげてきた。学生グループがいまいちとつ伸びない、飛距離は充分だがショットの荒さが目立つ。木原智絵、原田香里、石井梨香、喜多麻子、そして三木恵美子らの若手の生き生きとしたショットが頼母しく感じられる。そしてシード組の中田朱美、渡辺恵子、小笠原みさ子さらに谷弘恵、湯原光葉、尾関久江、吉村雅江たちも懸命に追いすがっている。

高校グループの中から今大会最大の大型新人と騒がれる丸谷京子が手堅く伸びてくる。昨年関東女子ジュニア優勝の木村敏美がいま一步伸びてこない。

風とグリーン上が相手だった初日は76の高橋に1差で吉沢、そして78の3位グループに丸谷、中田、鈴木エツ、渡辺恵子の4人が並んで決勝後半戦に駒を進める。



▲熱い戦を終えて、お互い健闘をたたえて握手する、高橋良江、丸谷京子

▼雨が降り出して来たが...  
見事なティショットをこなす  
高橋良江、(17番にて)





▲いよいよ最終ラウンドの10番のスタートのティ・ショット  
「見事フェアウェイをキープする」丸谷京子

### 丸谷京子(最上新里、高校3年) 激闘の2位。

最終日、いまでも降り出しそうな曇天、風足も早い。高橋、吉沢の両ベテランに交って若い丸谷がスタートしていく。ギャラリーの目はこの3人のパーティーに集中する。

プライベートの雑事に追われて練習不足を嘆いていた高橋に対して、絶好調が伝えられるベテラン吉沢の逆転か、或いは新人丸谷の若さか物を言うか、話題はスタート前から華やいていた。

スタートの2ホールは高橋、丸谷ともにパーをセーブ、吉沢がいまひとつパットが決まらず早くも2ボギーと崩れる。3番ショートで高橋がパーディー、3ストローク離したが4番ロングでは逆にボギーとし差は2差に戻る。5番高橋パー、丸谷がボギーでまた3差、ここで吉沢がダブルボギーとして自滅して行った。慎重な高橋に対して丸谷は伸び伸びと攻め続ける、7番そして8番と丸谷がパーで切り抜けたのに対して高橋は連続ボギーとつまづき、その差1ストロークリードして後半戦に移った。

追い込みが期待された渡辺はスタートホールで4パットがたたり早くも敗北宣言、木村敏美が前半37の快ペースで急追、初日の83の出遅れがくやまれる。

バックナインに入って10番、丸谷は幸先よいパーでスタート、高橋はボギーとして早くも一線に並ぶ。12番ボギーで一步後退した丸谷に対して高橋は13番ショートでパーディーとして一挙に引き離しに出る。しかし14、15番を連続ボギーで貯金をはき出す有様。まさにデッドヒートの展開だ。残り3ホール、両者全くのタイスコア。16番ショート、丸谷は並んだ勢いで一挙に攻め込んだのだろうが、惜しいパットをはずして高橋に一步おくれる。しかし17番高橋の2打が木に当たってトラブル、そして相手の4オンを見た丸谷の3打がグリーンオーバーと、このあたり苛酷なまでの激闘が続く。結局30cmに寄せた丸谷がパーを拾いボギーとした高橋と再度オールスクエア。勝負は最終18番に持ち込まれた。

伯仲する2人の対決、ベテランと新人というオマケまでついた両者の激闘は今大会唯一のハイライトとなった。

286m、パー4、グリーンはゆるやかにフェアウェイをのぼったところ、両者とも1打を左右に打ち分け約200m地点から第2打を狙う距離だ。15番あた



▲いよいよ2人の戦いになって来た、両者何を考えているのか…  
高橋良江・丸谷京子

りから風によって小雨となったためコンディションに多少の変化が予想された。お互いか思惑を重ねながら第2打の戦略を心ひそかに練りながら一步一步と両雄が歩いてくる。ピンポジションはグリーンの中の右奥、しかも雨を予想してのマウンドの中ほどに切られ、打てなければ大きく流れるというむずかしいカッパの位置だ。

吉沢がピン2m手前につける。激しい2人のせり合いをはた目に『今日は集中力を欠いた一日でした』と敗者の弁。2人の堅さが想像できた。案の定2人とも15mあまり残して2オン。プレッシャー以外になにもない。大型新人に寄せる期待と失望を交差させ

るザワメキがグリーン周辺の湧いた。打ち終わった丸谷が幾度となくクラブを振り直している姿がいじらしく見える。

誰かが「プレーオフだ」とささやく。双方が2パットならプレーオフに違いない、しかしどこにドラマを盛りあげる魔神がいるかは誰にもわからない。

大拍手を迎えられた3人の女、やがて大会も終焉を迎えようとする18番グリーンサイドには華やかなギャラリーたち一杯杯だ。

そして両者の対決は始まった。高橋は約60cmに寄せた。丸谷はこれに10cmショートして70cmと両者互角、グリーンの上でこの日わが愛娘の闘いを見守ってきた丸谷の母(千和子さん)がしやがみ込むようにして両手で顔をおおう姿が印象的だった。

「打てれば入る」誰もがそう予想した、しかし幸運の女神は丸谷に味方しなかった、カップの右をかすめるようにオーバー、その不運に泣いた。61年度関東女子アマのウィナーとして高橋は大きく手を挙げて観衆に応えた。新人と老練、雨の中の女の熱い闘いは終わった。

『一生懸命やりました。満足しています。これからは安定したショットが出来るよう厳しい練習をします』とすがすがしい丸谷の敗戦の弁だった。

### 欲しいルールの徹底研究

関係者はいちようにこれらの大型新人の到来を喜んだ。技術的にもう一步という期待が残る大会だったが全体的に若い学生やジュニアの健闘が目立ったことは本大会のもつ意義も大きいといえよう。

しかしルール違反で1名の失格者が出たり競技途



▲これからパーティーの始まり…みんな揃って健闘をたたえよう

中で罰打を加えられるなどルールの研究不足はいなめない事実であり、今後の大きな課題でもあろう。

女子ゴルフ界のレベルアップのためにも今後一層の研さんを望みたいものである。

20年連続出場で表彰された遠藤智子(戸塚)と15年の野崎裕子(東京国際)の両選手は『ゴルフは人生と同じで、いつまでたってもそれがいいということがない。マナーは年々よくなったが、これからはルールも勉強することがアマにとって大切なことです』と口を揃えて大会出場の意義を語ってくれた。

和やかな表彰式パーティーは美しい花が咲いたようにクラブ内は華やかだった。そして40位までの41名が6月18日千葉カントリーで開かれる日本女子アマにシードされた。

細川関東ゴルフ連盟理事長は『若い世代の人たちの生き生きとしたプレーが今後の女子アマ界の大きな発展の基礎となる、底辺の広がった日本のゴルフ界がさらに充実するために関係者のより一層のご支援をお願いしたい』と挨拶、61年度関東女子ゴルフ選手権は終わった。

### 20位までの成績

順位	選手名	所属	1R	2R	合計
1位	高橋良江	嵐山	76	80	156
2位	丸谷京子	最上新里	78	79	157
3位	木村敏美	藤岡	83	76	159
4位	渡辺恵子	高根	78	82	160
5位	金田正子	大厚木	82	79	161
6位	原田香里	鳥山城	82	79	161
7位	木原智絵	専修大	82	79	161
8位	小笠原みさ子	大厚木	80	81	161
9位	中田朱美	袖ヶ浦	78	83	161
10位	吉沢キミ子	セントラル	77	84	161

順位	選手名	所属	1R	2R	合計
11位	中村静江	東千葉	83	79	162
12位	青木英子	船橋	82	81	163
13位	吉田順子	日体大	80	83	163
14位	加藤勝栄	平塚富士見	79	84	163
15位	鈴木エツ	大薬野	78	85	163
16位	尾関久江	武蔵	85	79	164
17位	泰道都也子	習志野	84	81	165
18位	須賀みお	浦和新日本	84	81	165
19位	谷弘恵	青学大	83	82	165
20位	三木恵美子	富士	82	83	165

昭和61年度 関東女子ゴルフ選手権決勝競技成績表

参加者149名 5月28日(水)・29日(木) 於：柏ゴルフ倶楽部

Table with 5 columns: 順位, 選手名, 所属, 第1ラウンド アウトイン 計, 第2ラウンド アウトイン 計, 合計. Lists participants and their scores for the first and second rounds.

Table with 5 columns: 順位, 選手名, 所属, 第1ラウンド アウトイン 計, 第2ラウンド アウトイン 計, 合計. Continuation of the tournament results table.

昭和61年度関東倶楽部対抗予選競技

東京地区

期日 昭和61年6月2日(月) 参加者 13チーム 104名 コース GMG八王子ゴルフ場

今年の関東倶楽部対抗東京地区予選競技は、最高の天候で幕を明けた。会場となったGMG八王子ゴルフ場は開催コースとして初めて大任を引受けて1年前からコース整備に努力してきたが4月18日に18ホールナイター営業をオープンし、自動放水設備工事及び62年の開場20周年に向けてのコース改造工事も進行中であったため、グリーンキーパーをはじめメンテナンスのスタッフは思うようにコース整備が出来ず、それに追討ちをかけるように、今冬は予想以上の寒波、3月には大雪、春になっても気温が上らず5月に入ってもコース状態は悪く、支配人以下全従業員が定休日を返上し、必死の整備作業に努め、どうにか開催の準備を終了し、当日を迎えたのである。

こうして競技は8時からスタートした。風もなく空は予報と異なり雲一つ無い好天に恵まれ、倶楽部対抗も俄然熱がこもった。優勝争いは毎年の常連チームが顔を並べた中に参加2年目の地元GMG八王子ゴルフ場も伏兵としてこの争いに加わった。コースが狭く難しい事もあり、全体的にスコアは低調だったが、前年1位の最強チーム東京国際カントリー倶楽部、経験豊富な立川国際カントリー倶楽部、府中カントリークラブ、桜ヶ丘カントリークラブの強豪チームと地元チームのGMG八王子ゴルフ場が意地と面子をかけての激しいせり合いとなった。

各チーム、倶楽部対抗ならではの応援合戦も色をそえ、自分のチームの情報を収集しては、計算機を片手に成績ボードを見上げ、他クラブとのスコアを比較し、時には伝令を走らせ選手に檄をよび、競技が終りに近づくクラブハウスの周りも一段とせわしくなりいろいろな情報が乱れ飛んだ。結局A、Bクラス全員が安定したスコアを出した立川国際カントリー倶楽部がチームトータル464ストロークで優勝、最後まで二転、三転と激しくせり合ったGMG

八王子ゴルフ場はAクラスのベストスコア69をマークした高橋伊佐男をはじめ全員大健闘の結果、東京国際カントリー倶楽部を押えて堂々第2位となった。成績発表、賞品授与が行なわれ、和気合々のパーティも閉会し退場する各クラブ選手団、役員を開催クラブの選手団、役員、従業員一同が通路に並び、来年の再会を誓い見送り、昭和61年度の倶楽部対抗東京地区予選競技大会が無事終了した。

埼玉地区

61年度、関東倶楽部対抗埼玉県予選競技が、新緑の深い、秩父路の廣濟堂埼玉ゴルフ倶楽部に、各20倶楽部の中から選ばれた代表選手を迎え、熱戦がくりひろげられた。この大会の準備として当倶楽部全員が、一丸となって、競技が成功裏に終る様努めた、食堂においては前夜からハウス内に寝泊りし、コース管理課員においても、連日残業に残業を重ねコース整備に努めた、その結果当日は完全とはいかなかったが、開催倶楽部として、無事競技を終了することが出来たことは、誠に喜ばしく思う次第であります。これも競技委員並に食堂に従事していただいた女子の会員によるボランティアの方々のお蔭によるものが大であると思います。このボランティアの皆様のご協力に心からお礼申し上げます。誠にありがとうございました。

今後は、社員全員でクラブライフの向上につとめてまいります。関係各位、大変有難うございました。

神奈川地区

ゴルフ倶楽部の主催するイベントの中でも「関東クラブ対抗神奈川地区予選競技」は大きなイベントの一つであり、この1年間には競技コースとしての準備に万全を期し、全社をあげて努力をしてきました。最も重要な競技ホール決定、そしてその管理と維持に神経を使いました。又特に運営の中心になる、フロント、キャディーマスター室、キャディーについても慎重を期しました。クラブ側も競技委員会はその中心的役割をはたし、関係分科会も全面的に御

## 競技

協力をいただきました。5月のキャプテン会議の時点で準備体制はほぼ終了し、その後はさらに点検をくり返し、改善をくわえつつ、6月3日の当日となりました。幸い天候も晴天とはいかなかったか雨が降らなかったことが、よかったです。運営も競技もスムーズに終了したことに対し、KGA、参加各クラブの皆様へ感謝申し上げます。

### 茨城第1地区

クラブハウスの狭い当倶楽部としては競技当日が雨になることが最も心配だったのですが、朝から絶好の晴天に恵まれ成績の掲示、皆さんの休憩等に戸外利用ができて諸事万般、順調に運営ができました。然し、正午頃には気温が25℃に達し選手は勿論、応援の方々も暑さでかなり大変のようでした。

5月中の温度が、今年は例年より低くコーライグリーンの整備には最も苦労しました。平年並の温度になったのは競技の日のつい3日前からこの気温上昇があと1週間早ければ、グリーンコンディションも或る程度御満足頂けたのではないかと考えております。

当倶楽部として初めての公式競技の開催で、種々反省点もありますが逆に諸準備についての社内チームワークが、倶楽部としての最大の収穫となりました。

### 茨城第2地区

12会場のトップを切って5月26日(月)開催されました。当日は曇一つないくらい初夏を思わせる太陽が照りつける、絶好のゴルフ日和となり熱戦が繰り広げられました。

運営面で特筆すべきこととして、食堂のご利用について次のようにいたしました。朝食を事前にご予約いただいて、チームごとに席を分けクラブハウスオープンと同時に一斉に配膳し、朝食から昼食、表彰式およびパーティまで同じ席をご利用いただきましたので、着席したままでパーティができ、プレー後の疲れた選手もほっとされたことと思われます。

茨城地区は2会場に分けて開催されましたので、ラウンドの進行が途中遅れがあったにもかかわらず、順調にラウンドが終了し、関係各位のご協力により、とどこおりに終了いたしました。

### 栃木第1地区

この度、関東クラブ対抗栃木第1地区予選競技会場として、6月3日16チームの参加を得て、無事終了致しました事を、関東ゴルフ連盟を初め関係者の皆様へ厚く御礼申し上げます。

当日は、薄曇り乍ら気温も適当で、汗ばむ事のない絶好のゴルフ日和で、参加の選手は張り切ってプレーを競い、練習の成果を如実に成績に反映された様でした。

会場クラブとしては、数ヶ月前より準備に入り、当日遺漏ない様務めましたが、何分初めての事で幾つか不行届の点があった事を参加チーム各位にお詫び申し上げます。

その他、コースの状態、パーティ会場の狭さ等々、不満足のもの多くありましたと存じます。

又、天候につきましては、「カミナリ」の時期でプレー中の襲雷を一番懸念し、襲雷情報を関係筋から入手し乍ら対策を立てましたが、無事「カミナリ」の洗礼を受けず終わってからの、雨が降ってきた事は本当についていた感じでした。

### 群馬地区

去る6月2日(月)、当クラブで連盟主催競技として「関東倶楽部対抗群馬地区予選競技」が行われました。当日は、天候にも恵まれ県下の15クラブから各クラブを代表する選手120名が一堂に会し、クラブ間の親睦と技術の向上を目指し競い合いました。

朝8時、選手達は無言のうち緊張の面持ちでスタート。それを見送る各クラブの応援者も皆真顔です。ハーフが終わり折返しては各選出選手のスコアに一喜一憂する世話役さん、各クラブ心身共に一丸となっております。プレーも終わる集計段階、スコアボードの回りには大変な人だかりです。集計作業も順調に行われ表彰式へと進みましたがその結果、優勝は草津カントリークラブ、2位が太田双葉カントリークラブ、その差は僅か3ストロークでした。待望の我がクラブはというと、残念今年もブービー賞でした。我が選手面々言わく、大会前とは打って変わり「参加することに意義がある」……?しかし何事もなく無事に終了してホントに良かった!

振返れば昨年度、当クラブが予選競技会場に決定してからは、右往左往の手探りの中、支配人を中心に一丸となってコース整備に努めましたが、なかなか満足出来る結果が得られず選手の皆様には大変ご迷惑をおかけし誠に申し訳ありませんでした。草津C.C.及び太田双葉C.C.両クラブの決勝大会での健闘をお祈り申し上げます。

又、県下各クラブの支配人の皆様のご協力と萩原支配人会々長、並びに連盟の福田・古茶両理事他のご支援で終了できましたことに対し、この項をお借りし心より御礼申し上げます。

### 静岡地区

クラブ対抗静岡予選は、6月5日伊豆半島の中心部に位置する、伊豆にらやまカントリークラブに23クラブが集い開催された。

にらやまカントリークラブは、富士山や駿河湾を一望出来る景勝の地にあり、当日は幸い晴天に恵まれたが、朝より強風が吹き荒れ各選手を苦しめた。

開催コースは、フェアウェイにアンジュレーションがあり、又、距離も長く、グリーンは4mmにWカットされるというコンディションでの為か、70台でホールアウトした選手はA・B両クラスで20名であり、反面90以上の選手は48名を数えた。

その内No.1の東名カントリークラブが478ストロークの素晴らしいスコアで4年連続優勝の栄冠を勝ち取った。

2位以下は大接戦となり、491ストロークで沼津ゴルフクラブ、富士カントリークラブ、大熱海国際の3クラブが並んだ。

実施規定に従い、Bクラス4人目のスコアで大熱海が4位となり、次にAクラス4人目のスコアで沼津ゴルフが2位、富士カントリーが3位と決定した。

5位と6位、7位と8位、10位と11位、も同ストロークとなる大熱戦であった。

又、メダリストは

Aクラス 田米康二(浜松シーサイド) 77

Bクラス 佐野義則(富士宮) 72

という立派な成績であった。

今回は特に各クラブより、オーナーや支配人を先頭に応援の人々も多く、各選手の成績に一喜一憂す

る姿が随分見受けられた。

午後6時より、食堂に於て開催クラブ太田支配人の司会のもと、表彰式が行なわれた。

連盟を代表して木村襄司競技委員長のあいさつのち、にらやまカントリークラブ山田幾夫理事長のあいさつと乾杯の後、優勝チーム東名カントリークラブ城畑キャプテンに目録が、各メダリストに記念品を渡し次回のクラブ対抗を目指して研さんすることを誓い合い、6時40分大盛況のうちに解散した。

### 長野地区

昭和61年度関東倶楽部対抗長野地区予選競技は春の訪れの遅い信州では、絶好のコースコンディションとはいかない迄も晴天微風の好天のもと、13チームが参加し熱戦が繰り広げられた。

成績は昨年同様、長野カントリーチームが優勝。2位には信州丸子高原カントリーチームが決まり、代表チームに選ばれた。

競技は何のトラブルもなく順調に進み、14時30分より表彰式が行なわれ、長野地区恒例の各チーム代表による挨拶があり、ゴルフ競技同様の白熱した熱戦ならぬ舌戦となった。

緊迫したゴルフ競技とは打って違って爆笑に次ぐ爆笑。この戦いの軍配は藤原競技委員長により、長野国際カントリーチームに上がり、大変和やかな雰囲気の中に代表チームの健闘を祈りつつ終了した。

### 新潟地区

雪国の新潟地区では、11月下旬より4月下旬までクロウズのコースがあり、春先での予選会は、コンディション作りがむずかしく、毎年秋に予選会を開催しています。したがって、決勝出場チームもクロウズを通し翌年まで、コンディション調整が大変となります。

61年度の予選会は、昨年秋フォレストG.C.で行われ、選抜された2チームも、今年決勝でがんばるべく、研修会を開きながら調整にはげんでいる現状です。

昨年、鶴舞C.C.で行われた決勝大会で、フォレストG.C.のチームは過去最高の15位、新潟県のレベルも関東地区に一步一歩近づいているようです。

競技

昭和61年度 関東倶楽部対抗予選競技成績表

地区別 順位	東 京 (GMG八王子)	埼 玉 (廣済堂埼玉)	千 葉 (千葉新日本)	神 奈 川 (津久井湖)	茨 城 第 1 (常 陽)	茨 城 第 2 (大 利 根)
1	立川国際 464	岡部チサン 454	船 橋 445	東名厚木 444	土 浦 461	大 利 根 472
2	GMG八王子 468	高 根 462	袖ヶ浦 450	横 浜 450	セントラル 465	水 戸 473
3	東京国際 474	嵐 山 465	姉ヶ崎 452	伊勢原 452	扶 桑 471	江 戸 崎 489
4	桜ヶ丘 476	武 蔵 466	新千葉 454	大相模 455	富士・笠間 474	龍ヶ崎 490
5	府 中 478	廣済堂埼玉 467	千 葉 456	平塚富士見 456	常 陽 479	茨城パシフィック 494
6	小金井 488	東 京 473	習志野 457	戸 塚 457	浅 見 480	日 立 495
7	青 梅 489	霞ヶ関 474	銚 子 459	相模原 462	フレンドシップ 481	取手新日本 500
8	八王子 490	日 高 475	千葉新日本 460	津久井湖 463	筑 波 483	桜 500
9	東京五都市 491	東 松 山 476	中 山 460	磯 子 466	アジア下館 487	白 帆 508
10	東京よみうり 491	高 坂 477	総 武 460	湘南シーサイド 470	東 筑 波 490	水戸グリーン 509
11	武蔵野 492	狭 山 479	蘆之台 461	賽 野 470	霞 台 491	麻 生 511
12	相 武 496	入 間 486	我 孫 子 464	箱 根 470	大 洗 492	大 戸 国際 530
13	多 摩 510	鴻 巣 486	鶴 舞 465	中 津 川 472	ダイヤグリーン 502	
14		越 生 487	東 京 湾 468	小田原湯本 474		
15		飯 能 487	上総富士 468	湯 河 原 478		
16		川 越 489	東 千 葉 469	大 賽 野 478		
17		熊 谷 496	藤ヶ谷 470	葉山国際 479		
18		ノーザン鶴ヶ原 498	南 総 471	レインボー 481		
19		浦和新日本 498	八 幡 472	川崎国際 487		
20		秩父国際 507	本 千 葉 473			
21			長 太 郎 474			
22			一 の 宮 475			
23			鹿 野 山 475			
24			鎌ヶ谷 477			
25			真 名 478			
26			紫 480			
27			千葉国際 480			
28			房 総 480			
29			成田スプリングス 480			
30			木 更 津 481			
31			京 葉 国際 484			
32			柏 484			
33			御 茶 ノ 水 486			
34			千葉廣済堂 491			
35			長 南 498			
個人1位	高橋伊佐男 (GMG八王子)	高根沢 勇 (岡部チサン)	木村一三 (船 橋)	金子房一 (東名厚木)	飯島憲二 (富士・笠間)	初見為治 (大利根)
A	69	74	70	70	75	74
B	星野正治 (武蔵野)	浅川辰彦 (武 蔵)	阪田哲男 (袖ヶ浦)	堀越栄治郎 (相模原)	松川清敏 (土 浦)	高野善次郎 (大利根)
	73	70	69	65	73	76

18ホール・ストローク・プレー (参加211チーム) 5月26日 6月2,3,4,5日

60年9月13日

栃木第1 (広 陵)	栃木第2 (千 成)	群 馬 (高崎KG)	静 岡 (伊豆にらやま)	長 野 (信州塩嶺高原)	新 潟 (フォレスト)
芳 賀 474	塩 原 468	草 津 482	東 名 478	長 野 474	新 潟 465
鹿 沼 474	都 賀 471	太 田 双 葉 485	沼 津 491	信州丸子 481	長 岡 474
鹿 沼 72 475	鬼 怒 川 472	赤 城 国際 488	富 士 491	望 月 483	フォレスト 475
宇 都 宮 477	唐 沢 475	伊 香 保 国際 490	大 熱 海 国際 491	信州塩嶺 485	日 本 海 476
那 須 チサン 477	日 光 477	甘 楽 491	富 士 チサン 494	諏 訪 湖 486	新 津 477
広 陵 480	矢 板 479	伊 香 保 496	朝 霧 ジャンボリー 494	穂 高 490	紫 雲 481
栃 木 481	杉 ノ 郷 479	美 野 原 498	浜 松 シーサイド 496	三 井 の 森 492	大 新 潟 481
足 利 483	千 成 480	ノ ーザン 群 馬 505	富 士 宮 496	松 本 493	上 越 国際(米山) 486
皐 月・鹿 沼 486	皆 川 城 483	鳳 凰 506	富 士 平 原 501	長 野 国際 507	妙 高 493
佐 野 486	関 東 国際 483	関 越 ハイランド 510	愛 鷹 502	サ ニ ー 508	上 越 国際(十日町) 494
宇 都 宮 国際 487	嵐 月 487	桐 生 511	函 南 502	佐 久 平 515	湯 田 上 496
下 野 489	鳥 山 城 489	上 毛 森 林 512	藤 枝 503	千 曲 高 原 527	石 打 後 楽 園 498
紫 塚 489	新 宇 都 宮 490	サン コー 520	静 岡・浜 岡 506	川 中 嶋 551	松 ケ 峯 501
あ さ ひ ヶ 丘 490	那 須 小 川 495	高 崎 KG 525	浜 松 豊 岡 国際 507		笹 神 五 頭 507
皐 月・佐 野 496	東 宇 都 宮 499	上 毛 高 原 527	伊 豆 に ら や ま 508		津 川 527
藤 和 那 須 522	南 摩 城 503		南 箱 根 513		
	鶴 504		静 岡・島 田 515		
			太 陽 518		
			天 城 に つ か つ 524		
			伊 東 525		
			静 岡・袋 井 528		
			富 士 小 山 531		
			御 殿 場 540		
高 松 英 明 (芳 賀)	塩 谷 幸 朗 (日 光)	柴 宮 佑 司 (鳳 凰) 小 島 勇 (伊 香 保) 長 谷 川 弘 志 (太 田 双 葉) 鈴 木 政 伊 (草 津)	田 米 康 二 (浜 松 シー サ イ ド)	森 島 達 夫 (望 月)	金 子 勇 次 (長 岡)
76	76	79	77	78	74
松 井 滋 (皐 月・鹿 沼) 平 山 一 好 (那 須 チサン)	山 田 学 烈 (鬼 怒 川)	菊 池 悠 貴 男 (赤 城 国際)	佐 野 義 則 (富 士 宮)	山 口 一 郎 (信 州 丸 子)	植 木 英 雄 (上 越 国際・米 山) 齊 藤 元 良 (新 潟) 新 田 鐘 大 (妙 高)
71	72	74	72	70	73

## 春季ジュニア教室 盛況裡に開催さる。

●期日 3月26日～28日 ●場所 真名カントリークラブ ●参加者 98名



▲ジュニアゴルファー全員集合、開会式前

今年度のジュニア教室が3月26日から28日まで昨年に引続き千葉県茂原市の真名カントリークラブで開催された。

今年の参加者は総勢98名、内訳は高校生42名うち女子2名、中学生は全員男子で46名、小学生6名うち女子2名であった。これらジュニア達を5班に分け各班には班長以下の連盟ジュニア委員と学連委員のほか、昨年より日本プロゴルフ協会より正式に協力体制が敷かれ、各班に1名宛のプロの先生方も加わる充実した指導体制となった。今回の指導プロの方々は、田原紘、土山録志、阿部信行、中瀬芳治、新名和博、風見博、高島勝己の諸氏。

第一日は午前10時半に集合して開会式のあと班別にハーフラウンドのラウンドレッスン、練習場にてのレッスン、昼食組とキメ細かなスケジュールに従って本番スタート。夜は7時よりルールとエチケットの講習が齊藤委員長、大鷲副委員長により行なわれた。

第二日は、6時起床、プールサイドで体操を行ない、「ふる里村」コテージよりクラブハウスへ移動、

朝食のあと、予定を15分早め7時30分から、つつじ、くすの木、こぶしの3コースより各班スタート、残る2班は練習場でレッスン受講と、1.5ラウンド消化を目標に、ジュニア諸君は張り切って、エンジンを始動。セルフバックで目土袋を下げラウンドする経験の少ないこともあり、一部、小学生や女子ジュニアの中には1ラウンド終了後、班長のすすめで、練習場へ廻るケースもあった。

夜は、当クラブの素晴らしいエアロビクスセンターで、小林チーフトレーナー(前中京大学教授)より、



▲大鷲副委員長 元ジュニアの代表達、現在学連の川岸・森田・川本君を紹介



▲開会式で挨拶される齊藤委員長

ゴルフに必要な筋肉を鍛えるには、ランニングがよい等々の有益なお話のあと、トレーニング室で、2人体操の実際、種々な体操器具の操作方法等の勉強に、あっという間の2時間を過ごした。

最終日は、昼頃から雨となったが、予定通り、試合形式で1ラウンドを行なって全てのスケジュールを無事終了。エアロビクスセンターに移り入浴のあと、食堂で閉会式を行ない、16時に解散という可成りハードなしかし充実したスケジュールであった。

当教室は、ジュニアゴルファーの育成を目的とし、

指導方針としては、正しいゴルフの知識と理解、共同生活のあり方の理解を深めることだが、2泊3日の短い期間ながら班長以下、学連委員、プロ指導員の方々の厳しいそして親身の指導により、技術的向上は勿論の事、挨拶の仕方も見違えるように変わったのは素晴らしいことだった。

又、受入側の真名カントリークラブの方々の協力も大変なもので、朝早くから夜9時のスケジュール終了まで御世話下さり面倒みていただくなど、ご努力には本当に頭の下がる思いでした。心より御礼申し上げますと共に、今後とも絶大なご協力をお願い申し上げます次第であります。



▲KGA春季ジュニアゴルフ教室夜のミーティング風景、初めての参加者を挙手にて求めているところ



▲練習場で、プロに指導を受ける真剣な顔をして、一生懸命練習するジュニア

解答者：日本ゴルフ協会ルール委員長 浜口五郎

**Q-1** ストロークプレーのグリーン上で、他人のマークに間違っ

て球を置きパットしてしまっ

た。ショート・ホールで、ティ・

ショットがワンオンし、グリーン上の球をマークして拾い上げ、球をリプレースするとき、うっかり同伴プレーヤーのマークの箇所に球をおき、すぐに次のパットを打ってしまいました。球はホールのふちで止まりホールには入りませんでした。

ワンオンして、誤ったところからワンパットしホールのふちにとまった球のそのあとの処置。

(イ)その球を拾い上げずそのままプレーし、次のパットでホールに入りました。つまり2パットでホールアウトしました。

(ロ)その球を拾い上げ、自分の元の正しかったマークの箇所にリプレースしようとしたとき、キャディさんよりそのままホールアウトしなさいといわれ、拾い上げた球を拾い上げた付近にプレースして、次のパットでホールアウトしました。

**A-1** (イ)そのショート・ホールのスコアは5  
(ロ)そのショート・ホールのスコアは6  
(ハ)そのショート・ホールのスコアは8

「適用できる条項にもとずいて、ドロップやプレースしたが、そこが誤所であったり、リプレースを要するとき、これをしないで次のストロークをしたとき」誤所のプレーとして2打の罰が課されます。

また、この誤所からのプレーは誤所から打たれた球をそのままプレーして、そのホールを終了しなければいけません。同じ誤所でも、ティグラウンドの区域外で打ったときは、ストロークプレーでは、正しいティから再プレーしなければならず、誤球のプレーも、正しいものを再プレーしなければなりません。

(イ)の処置が、正しいもので、ワンオン、2パットに、誤所からのプレーの2打罰を付加して、スコアは5となります。

(ロ)の処置は、誤所からのプレーの2打罰にグリーン上の球をマークしないで拾い上げた罰1打を付加さ

れますが、すぐにリプレースしたので、ワンオン、2パットに3打罰で6となります。

(ハ)の処置は、誤所からのプレーの2打罰に、グリーン上の球を拾い上げた罰1打に加え、その箇所へのリプレース違反の罰2打が付加されますが、このリプレースの違反の罰2打が付加されますが、このリプレース違反のときは、一般の罰が課せられて、拾い上げの罰の1打は、追加されません。したがって、拾い上げと、リプレース違反で、2打罰となります。したがって、ティ・ショットにはじめの1パットに次の2パットで合計4ストローク、それに4打罰が加えられ、スコアは、8となります。

参照—規則20-76(誤所からのプレー)、20-1(球の拾い上げ)、11-36(ティの区域外で打つ)、15-3(誤球のプレー)

※前号に掲載されたものですが、スコアの数字かたに間違いがありましたので、補正訂正いたしました。

**Q-2** 状況 ストロークプレーの競技中、プレーヤーAは1番グリーン上で、パターが自分のでないことに気がついたが、先週プレーしたときに間違えられたと思い、そのパターでプレーを続けた。また、その2組後でプレーヤーBも、1番グリーン上で、パターが自分のでないことに気がついた。プレーヤーBは、スタート前自分のパターで練習したので何者かに、すり替えられたか、間違えられたかと思い自分のキャディー(共用キャディー)に、まだスタートしていない組と先行組にパターの間違いを尋ねたところ、プレーヤーAと間違えていることが分かった。

プレーヤーBは、1番ホールで、プレーヤーAのパターでプレーしたか同伴競技者に、人のクラブを使うと使ったことに2罰打つくの言われ、そのパターを不使用宣言した。

5番ホールに来てプレーヤーAに追い付きそこで自分のパターと取り替えラウンドを双方とも終了した。キャディーがプレーヤーBのパターを捜している間、不当な遅延もなく、プレーも中断していませんでした。

**裁定** プレーヤーAはクラブ本数が13本、プレーヤーBはクラブ本数が14本でした。JGA裁定集73-11により、プレー中自分のクラブを取り戻すことは、

「借用」でないことあり、罰なしとしたが、1番ホールは双方のクラブを使用したので、双方のクラブ本数は、プレーヤーAは14本、プレーヤーBは15本となりプレーヤーBは規則4条4に違反したことになり1ラウンド最高4罰打とした。

(1)プレー中自分のクラブを取り戻すことが「借用」になる場合JGA裁定集73-11と、この度のトラブルの見解の相違点についてご教示下さい。

(2)プレーヤーBのキャディーに捜させた場合、プレーを中断したことになるか。

**A-2** プレーヤーAおよびBが正規のラウンドをスタートした時点において携えていたクラブは、そのラウンドのために選んだクラブであり、その中に他人のクラブが混じっていてもそれは無関係である。従って、AおよびB共にそのままのクラブでそのラウンドを終了すべきであった。

しかし乍ら、Bは1番ホールのプレー中に自分のパターでないことに気付いて捜したあげく、AとBのパターが入り替わっていたことが判かり、A、B双方は5番ホールでパターを交換し、夫々そのラウンドを完了した。これは規則4条4aの「通常のプレーで損傷してプレーに不適当となったクラブ」の取り替えには該当せず、むしろ、コースでプレーしている者からのクラブの借用補充に該当する。

従って、AおよびB共に、規則4条4aに基づき、5番ホール以降反則のあったホール毎に2打の罰が課せられる。ただし、罰は1ラウンドにつき最高4打までである。

なお、Bは5番ホールで自分のパターを取り戻した時点でクラブを15本持ったことになり、超過クラブの不使用宣言をすべきであったのにこれを行っていないが、AにAのパターを返しているため、実質的に不使用宣言をしたものとみなし4条4cの違反は問わない(1番ホールでの不使用宣言は、Bに超過クラブの事実がないので、意味をなさない)。委員会の裁定は規則の解釈に誤りがあったが、その裁定は最終である。

(1)プレー中に自分のクラブを取り戻すことを「借用」と解すか否かは、そのクラブがそのラウンドのためにプレーヤーによりスタート前に選ばれたクラブで

あるか否かによって判断すべきである。即ち、そのラウンドのために選ばれたクラブでなければ、「借用」となる。

JGA裁定集73-11(新裁定集4-4a/8)の例では、そのラウンドのために選ばれたクラブの中の1本が何者かによって持ち去られていたことに気付かず、パター無しで13本でスタートしているのに対し、質問のケースでは、スタート前の練習で使用したことを理由に問題のパターを自分の選んだクラブであるとBが主張したとしても、Bは別のパターを含む14本を携えてスタートしており、クラブを14本まで選べる権利を行使している事実に対抗できない。

(2)プレーヤーBがプレーを中断せずにプレーを続けていたならば、プレーの中断とはならない。質問のケースでプレー中断の事実があったとすれば、プレーヤーは規則6条8a(=)を主張するものと思われるが、このケースでの状況を判断した場合、中断は正当な理由によるものとは認められない。

**Q-3** クラブシンボルマークをボールに印刷する事に関して、パッティングライン上に一直線になるようなネームはルール上作る事が出来ないといわれておりますが、ルール上問題がありませんでしょうか。

たとえば、練習場ボールの様に赤線を普通のボールに印刷して競技(正式)に使用出来るでしょうか。

**A-3** ゴルフの球に関する規則としては、重量が45.93グラムより重くないこと、直径が41.15mm(米国は42.67mm)より小さいものでないこと、球は球体として対象であるような動きをするように製造されなければならないこと、および球の性能を変える目的で異質物を球に付着させてはならないことを定めているが、球につける目印については触れていない。

また、規則12条2「球の識別」の前文にて、「正球をプレーする責任はプレーヤー自身にある。各プレーヤーは自己の球に識別の印を付けておくべきである」と述べられており、球に付ける印についての制限を設けていない。以上の次第で表示の件は規則に違反とはならない。

# 理事会・委員会

加盟倶楽部殿 昭和61年6月6日  
関東ゴルフ連盟

理事長 細川 護 貞

## 61年度第2回理事会議事録

61年度第2回理事会討議事項を下記の通りお知らせします。

日 時 昭和61年6月6日

場 所 ホテルニューオータニ

出席者 細川理事長、武内副理事長、相山、木村、古賀、古茶、齋藤、佐藤、中井、松浦、松野、森井各常務理事、北村、小宮山、小林金太郎、小林 忠、小山、佐久目、竹井、福田各理事、岩本、三嶋両監事

## —— 決 議 事 項 ——

### 1. 関東オープン準備状況報告

武内準備委員長より、セントラルで開かれる関東オープンの準備について、5月10日現地にて倶楽部と細部打合を行なったこと、理事長以下熱心に取り組んでいる旨の説明がなされ、準備は着々と進行しているとの報告があり全員了承した。

### 2. 62年度主催競技開催コース選定の件

コース選定委員会より、5月6日(火)開催された同委員会にて選定した明年度連盟主催の決勝競技開催コースについて

5月27日～28日 関東女子決勝 (交渉中)

6月9日～11日 関東アマチュア決勝 東 名

6月30日 クラブ対抗決勝 取手新日本

7月下旬 関東ジュニア予選 ノーザン錦ヶ原

7月29日～30日 関東ジュニア決勝 武 蔵

9月3日～6日 関東オープン 総 武

9月初旬 関東シニア予選第1 青 梅

9月初旬 関東シニア予選第2 ナタゴルフコース

9月29日～30日 関東シニア決勝 小 川

10月21日 関東グランドシニア決勝 相 模

との説明があり、全員これを了承した。

なお、日本ゴルフ協会主催で関東地区における開催コースは、

4月 ダンロップオープン 茨 城

7月 日本女子オープン 筑 波

8月 日本ジュニア 霞ヶ関

9月 日本アマチュア 浜松シーサイド

10月 日本シニア (交渉中)

との説明があり、これも異議なく了承した。

### 3. 委員会報告

#### ① 競技委員会

3月18日(火)正午より本年度第1回の委員会を開き、

①本年度連盟主催競技の実施要項を確認した後、各競技を担当する競技委員長及び副委員長を選出した。

②昨年同様、委員班別編成を6班とし1班を6人とし、各競技の参加人員も増えて居るので委員を増員し、負担が過重にならないようにした。

③今年度のローカル・ルール原案の説明が中井委員長より行なわれ、全員了承した。

#### ② ハンディキャップ委員会

福田委員長欠席の為、古茶コースレイト委員長により、4月15日(火)第1回、5月20日(火)第2回と開催された委員会の報告があった。

①今年度、ハンディキャップ委員会としては、まずアンケートを各クラブにお願いし、その結果をみて、クラブ毎とか県単位に説明会を開催し、JGAハンディキャップの推進を更に進める。

②コンピュータ料金について、横浜計算センターと接話し、年間の処理カード枚数1万枚以上のクラブに対してのサービスとして「端末機の無料貸与」を提供して貰うことになった。

#### ③ 第1回群馬県チーム対抗競技会

関東ゴルフ連盟の指導のもとにアンダーハンディキャップ競技を去る5月13日(火)伊香保カントリークラブで30クラブ(県内ゴルフ場総数36)の参加を得て開催され、成功裡に終了した。

以上の報告がされ、全員了承した。

#### ④ コースレイト委員会

コースレイト査定については、5コースの査定を実施した。今後の査定スケジュールは、

1. 千葉グリーンパークカントリー倶楽部 6月23日(月)

1. 千葉スプリングスカントリー倶楽部 7月22日(火)

1. 伊香保ゴルフ倶楽部 7月25日(金)

1. セントラルゴルフ倶楽部 8月5日(火)

1. 鶴ヶ島ゴルフ倶楽部 8月29日(金)

1. 高麗川カントリークラブ 10月2日(木)

1. 東千葉カントリー倶楽部 10月30日(木)

以上、古茶委員長より報告された。

#### ④ 月例委員会

3月13日(休)正午より松野委員長以下新委員、学連委員が出席し本年度第1回の月例委員会を開き、今年度もA、B2班編成とし、月例分担を決めた。

4月4日(金)正午、第2回、5月7日(休)正午、第3回が夫々JGA会議室で月例委員会が開催された。

女子の入賞について、参加者も毎月50名は参加して居り、入賞を3位までとし(従来2位)、これに伴ない男子も5位(従来3位)までとしたいとの提案があり、全員異議なく、承認した。

#### ⑤ ジュニア委員会

3月14日(金)正午、第1回ジュニア委員会が開かれ、第10回ジュニア教室(3月26日～28日)の班編成及び運営について打合せを行なった。千葉・真名C.C.での第10回教室は、連盟委員初め日本プロゴルフ協会・学連の指導参加のもと、成功裡に終了、特にクラブ側スタッフの熱心な運営には心から感謝したいと齋藤委員長より報告された。

4月21日、第2回ジュニア委員会では、3月のジュニア教室の反省及び夏のスケジュールが次のように決定の旨報告され、全員了承した。

第11回夏季ジュニア教室

8月18日(月) 桜ヶ丘

第12回夏季ジュニア教室

8月20日(水) 東京ゴルフ倶楽部

夏季ジュニア初心者教室

8月29日(金) ノーザン錦ヶ原

#### ⑥ 広報委員会

3月31日(月)正午、第1回広報委員会が開催されKGAニュース第15号を7月に発行することを決め、その編集が審議された。倶楽部対抗競技については各倶楽部にとって一番、身近な競技なので、予選競技開催倶楽部の協力を得て、記

事を載せることとしたいと木村委員長より説明が行なわれ、全員了承した。

#### ⑦ グリーン委員会

古賀委員長より4月22日(火)農林年金会館で開催された今年度春季グリーン研究講習会については「サンドグリーンの造成と管理の問題点」(柳久氏・東洋グリーンKK)、「芝地の維持管理と土壌・肥料」(農業研究センター・渡辺 裕)の2講演が行なわれたが、230名余の参加を得て成功であったとの説明があった。

次回は11月の予定

#### 4. 新規加盟申請クラブの件

入会資格審査委員会の武内委員長より、同委員会にて審議した加盟申請クラブの報告があり、全員異議なく次の3クラブの加盟を承認した。これで加盟クラブの総数は351クラブとなった。

浜野ゴルフクラブ

ニッソーカントリークラブ

カントリークラブ・ザ・レイクス

#### 5. 後援承認の件

次の競技の後援を承認した。

No.	競 技 名 称	主 催 者	開 催 日	開 催 コース
1	'86神奈川アマチュアゴルフ選手権大会	神奈川新聞社	男子 6/16 女子 6/10	程ヶ谷カントリー倶楽部 芙蓉カントリー倶楽部
2	第6回東日本パブリックアマチュアゴルフ選手権大会	日本パブリックゴルフ協会	決勝 5/14-15	紫カントリークラブ あやめコース
3	'86千葉県アマチュアゴルフ選手権大会	千葉県アマチュアゴルフ協会	決勝 4/21-22	榎ヶ瀬カントリークラブ (新緑コース)
4	第7回茨城オープンゴルフ選手権大会	茨城新聞社	7/9-10	茨 波カントリークラブ
5	第8回埼玉県アマチュアゴルフ選手権大会	埼玉新聞社	決勝 10/7	岡部チサンカントリークラブ
6	'86かながわオープンゴルフトーナメント	テレビ神奈川 神奈川新聞社	7/12-13	大塚木カントリー倶楽部
7	第15回栃木県オープンゴルフ選手権大会	下野新聞社	7/8-9	塩 原カントリークラブ
8	'86埼玉オープンゴルフトーナメント	テレビ埼玉	7/9-10	武 蔵カントリークラブ 豊岡コース
9	第15回静岡県アマチュアゴルフ選手権大会	静岡新聞社 SBS静岡放送	決勝 10/3	静岡カントリー 浜岡コース
10	第12回茨城県アマチュアゴルフ選手権大会	毎日新聞 水戸支局	決勝 9/20 (予定)	(交渉中)

次回理事会 9月17日(水) 以上

# 実施規定

## 昭和61年度 関東ジュニアゴルフ選手権競技 実施規定

(主催)関東ゴルフ連盟 スポーツニッポン新聞社 関東高等学校ゴルフ連盟

### ◎予選

期 日 昭和61年7月22日(火)、23日(水)、24日(木)  
25日(金)=予備日  
開催場所 ノーザンカントリークラブ・錦ヶ原ゴルフ場(さくら草・なの花コース)  
埼玉県大宮市塚本町2-22-1  
TEL 0486-24-5651

1. 競技規則 日本ゴルフ協会競技規則および本競技特別規則

2. 競技の条件 各クラスとも18ホール・ストローク・プレー、予選通過者数は各クラス下記の通りと定め、予選会場参加者数に比例して各予選の予選通過者数を決定する。  
高校男子の部=22日(火)、23日(水)、24日(木)  
150名  
中学男子の部=22日(火) 25位  
女子の部=22日(火) 15位

3. 参加資格 ① 競技当日年齢満18歳までの全日制中・高校生で関東地区に在住者  
② 原則として18ホール100ストローク以内でラウンドできる者  
③ 主催者の特別承認者

4. 賞 予選メダリスト

5. 参加料 5,000円(予選、決勝を通じ)

6. プレーの費用 指定練習日、及び競技当日はメンバーフィー

7. 参加申込 所定の参加申込書に在学証明書、及び参加料を添えて現金書留で直接スポニチ事業部に申込みこと。  
高ゴ連加盟校の選手の在学証明書は所定の用紙に連名で一括し、申込書(個人別)と一緒にまとめて郵送すること。  
申込先  
〒100 東京都千代田区一ツ橋1-1-1  
スポーツニッポン新聞東京本社事業部  
関東ジュニアゴルフ係  
TEL 03-213-3360

8. 申込締切日 昭和61年6月30日(月) 午後5時=必着=締切以後は理由の如何を問わず受付けない。締切以後に出場を取った場合でも参加料は返金しません。

9. 指定練習日 7月14日~21日迄の平日いずれか一日、(本人のみ、父兄等の同伴は認めません)必ず指定練習券を持参のこと。

10. 問合せ 関東ゴルフ連盟 TEL03(215)0511  
スポニチ事業部 TEL03(213)3360  
関東ゴルフ連盟(立教高校) TEL0484(71)2323

\*組合せ、注意事項は締切後発送します。

### ◎決勝

期 日 昭和61年7月30日(水)、7月31日(木)  
開催場所 武蔵カントリークラブ・笹井コース(狭山市笹井412 TEL 0429-53-2101)  
1. 競技規則 日本ゴルフ協会競技規則および本競技特別規則

2. 競技の条件 <高校男子>54ホール・ストローク・プレー  
7月30日(水) 18ホール・ストローク・プレー  
18ホール終了後、80位同位の者までが第2日目に出場。  
7月31日(木) 36ホール・ストローク・プレー  
<中学男子>  
7月31日(木) 18ホール・ストローク・プレー  
<女子>  
7月31日(木) 18ホール・ストローク・プレー

\*所定のホールを終り、第1位がタイの場合は、委員の指定するホールに於てサドン・デス方式のプレー・オフにより第1位を決定する。

3. 参加資格 ① 予選通過者  
② 第6回関東ジュニアゴルフ選手権男子の部上位5位までの者及び中学・女子の部優勝者  
③ 主催者の特別承認者

4. 賞 <男子の部>  
優勝者 レプリカ、メダル、賞状  
2~5位 メダル及び賞状  
全 員 予選通過記念品  
<中学男子の部>  
優勝者 レプリカ、メダル、賞状  
2~3位 メダル及び賞状  
全 員 予選通過記念品  
<女子の部>  
優勝者 レプリカ、メダル、賞状  
2~3位 メダル及び賞状  
全 員 予選通過記念品

5. 参加料 シード選手及び主催者特別承認のみ5,000円

6. プレーの費用 指定練習日及び競技当日はメンバーフィー

7. 指定練習日 中学男子、女子=7月25日(金)  
高校男子=7月29日(火)

8. その他 本大会の上位者は8月6日(水)、7日(木)両日、第30回日本ジュニアゴルフ選手権競技に参加できます。参加人数は各地区の予選参加人数に応じて配分されます。

# 実施規定

## 昭和61年度 関東オープンゴルフ選手権競技 実施規定

主催 関東ゴルフ連盟 後援 日本放送協会(NHK) 協賛 セントラルゴルフクラブ・日本ダンロップ 特別協賛 キリンビール株式会社

1. 開催日 昭和61年9月4日(水)、5日(木)、6日(金)、7日(土)

2. 開催場所 セントラルゴルフクラブ(東コース)  
茨城県行方郡麻生町麻生2196  
TEL.0299-72-1155

3. 競技方法 (1)72ホール・ストローク・プレー  
9月4日(水) 第1ラウンド  
18ホール・ストローク・プレー  
9月5日(木) 第2ラウンド  
18ホール・ストローク・プレー

(2)36ホールを終り、上位60位まで(アマチュアを含む)の者が、後半36ホールに進む。  
但し、アマチュアのみ成績第3位までの者は60位以外であっても後半36ホールの出場を認める。

9月6日(金) 第3ラウンド  
18ホール・ストローク・プレー  
9月7日(土) 第4ラウンド  
18ホール・ストローク・プレー

(3)72ホールを終り、プロ、アマともに第1位にタイ・スコアを生じたとき

6. プロ賞金 総額30,000,000円(この順位はアマチュアを除く)

順位	賞金	順位	賞金	順位	賞金	順位	賞金	
優勝	6,000,000円	16位	450,000円	31位	270,000円	46位	170,000円	
2位	3,000,000円	17位	430,000円	32位	260,000円	47位	160,000円	
3位	1,800,000円	18位	410,000円	33位	250,000円	48位	160,000円	
4位	1,200,000円	19位	390,000円	34位	240,000円	49位	150,000円	
5位	1,000,000円	20位	380,000円	35位	230,000円	50位	150,000円	
6位	900,000円	21位	370,000円	36位	220,000円	51位	140,000円	
7位	800,000円	22位	360,000円	37位	210,000円	52位	140,000円	
8位	750,000円	23位	350,000円	38位	210,000円	53位	130,000円	
9位	700,000円	24位	340,000円	39位	200,000円	54位	130,000円	
10位	650,000円	25位	330,000円	40位	200,000円	55位	120,000円	
11位	600,000円	26位	320,000円	41位	190,000円	56位	120,000円	
12位	570,000円	27位	310,000円	42位	190,000円	57位	110,000円	
13位	540,000円	28位	300,000円	43位	180,000円	58位	110,000円	
14位	510,000円	29位	290,000円	44位	180,000円	59位	100,000円	
15位	480,000円	30位	280,000円	45位	170,000円	60位	100,000円	
							以下予選通過者	100,000円
							合計	30,000,000円

7. 参加申込方法 競技参加料を添え加盟クラブまたは所属団体を通じ、締切期日までにKGAに申込みこと。

8. 競技参加料 KGA加盟クラブ選手20,000円KGA加盟クラブ以外の選手25,000円但し、締切以後の参加取消しの場合は参加料を返

は、即日委員の指定するホールにおいてサドン・デス方式によりプレー・オフを行ない、第1位を決める。

(テレビ放送) 第3日、第4日 NHK実況放送  
アマチュア:  
関東アマチュアゴルフ選手権競技成績40位まで  
前年度アジアアマチュア選手権日本代表選手(関東在住者)

プロフェッショナル:  
関東オープンゴルフ選手権歴代チャンピオン  
関東オープンゴルフ選手権前年度15位まで  
関東プロゴルフ協会選考85名  
KGA特別承認者

5. 賞品 優勝  
関東オープン・チャンピオン杯 NHK杯  
アマチュア  
ベスト・アマチュア KGA賞 NHK杯  
第2位、第3位 KGA賞  
予選入選賞 KGA賞

9. 申込締切日 昭和61年7月28日(月)17時必着  
締切後は事由の如何を問わず受付けない。

10. 指定練習日 昭和61年9月1日(月)、2日(火)、3日(水)但し、9月3日の練習ラウンドはアウト・イン共正午をもってスタートを締切る。

# 実施規定

## 昭和61年度 関東シニアゴルフ選手権競技 実施規定

### ◎予選

期 日 昭和61年9月8日(明) 第1ブロック、  
9日(火) 第2ブロック  
開催場所 第1ブロック  
足柄森林カントリー倶楽部  
駿東郡小山町桑木658  
TEL. 0550-6-3770  
第2ブロック  
取手新日本ゴルフ倶楽部(国際コース)  
筑波郡伊奈町板橋2994  
TEL. 02975-8-2211

1. 競技規則 日本ゴルフ協会ゴルフ規則、および本  
競技特別規則を適用する。

2. 競技の条件 18ホール・ストローク・プレーを行ない、  
各ブロック上位60位までが、9月30日、  
10月1日の2日間箱根カントリー倶楽部  
で開催する決勝競技出場資格を得る。  
但し、各ブロック予選通過者数は参加  
者の数によって変更することがある。

3. 参加資格 (1)加盟クラブ会員で競技当日満60歳以  
上JGAハンディキャップ16まで。  
但し、未実施クラブは下記計算によ  
り14まで。  
(2)KGA特別承認者

4. 賞 メダリスト賞

5. 参加料 予選、決勝を通じ20,000円  
参加料はクラブで取りまとめ「三和銀  
行東京営業部関東ゴルフ連盟普通預金  
口座No380」に振込みのこと。

(注) 締切以後の参加取消しの場合は参加料を返金しない。

6. 申込み方法 参加希望者は所属クラブに参加料を添  
えて申込むこと。

7. 申込締切日 昭和61年8月11日(明)17時必着  
締切以後は理由の如何を問わず受付ない。

8. 指定練習日 第1ブロック 9月2日(火)、5日(金)  
第2ブロック 9月4日(木)、5日(金)  
指定練習日は各ブロック2回指定日を  
定め、うちいずれか希望日1回は会員  
並み扱い、1回は一般ビジター扱いと  
し、希望日を開催クラブに届け出のこ  
と。ビジター扱い日利用の場合、クラブ側  
にスタートを予約することが必要だが、  
出場選手は会員の紹介を必要としない。

( 記 ) JGAハンディキャップを持っていない方  
は、所定の申請書に1年以内のベストカ  
ード10枚を提出して出場資格を取得し  
て下さい。

### ◎決勝

期 日 昭和61年9月30日(火)、10月1日(水)  
開催場所 箱根カントリー倶楽部  
足柄下郡箱根町仙石原1245  
TEL. 0460-4-8571

1. 競技規則 日本ゴルフ協会ゴルフ規則、および本  
競技特別規則を適用する。

2. プレーの条件 9月30日(火) 第1ラウンド  
18ホール・ストローク・プレー  
10月1日(水) 第2ラウンド  
18ホール・ストローク・プレー

3. タイの決定 36ホールを終わり、第1位がタイの場  
合は、委員の指定するホールに於て、  
サドン・デス方式のプレー・オフによ  
り第1位を決定する。

4. 参加資格 (1)本年度関東シニア選手権予選通過者  
(各ブロック60位)

(2)前年度関東シニア10位までの者  
優勝者 KGA杯(レブリカ)

2 位 菊 皿  
3 位 “  
4 位 “  
5 位 “  
(全員に予選通過記念品)

6. 参加料 20,000円(但し、決勝シード選手のみ)  
(注) 締切以後の参加取消しの場合は参加料を返金しない。

7. 申込み方法 参加資格(2)の該当者は所属クラブに参  
加料を添えて申込むこと(予選通過者  
は決勝に改めて申込みを必要としない)。  
申込みを受けたクラブは所定の申込書  
に参加料を添えて連盟に申込むこと。  
参加料は「三和銀行東京営業部関東ゴ  
ルフ連盟普通預金口座No380」へ振込み  
のこと。

8. 申込締切日 昭和61年9月10日(水)17時必着  
締切以後は理由の如何を問わず受付  
ない。

9. 指定練習日 9月16日(火)、24日(水)  
1人2日間メンバー並み扱いとし予め  
スタート時間を予約すること。

( 備 考 ) 昭和61年度日本シニア選手権(10/15-16  
広島カントリー倶楽部)の参加資格は  
本決勝競技の上位45位まで。

# 実施規定

## 昭和61年度 関東グランド・シニアゴルフ選手権競技 実施規定

期 日 昭和61年10月22日(水)  
開催場所 東京ゴルフ倶楽部  
狭山市柏原1984 TEL.0429-53-9111

1. 競技規則 日本ゴルフ協会ゴルフ規則、および本  
競技特別規則を適用する。

2. プレーの条件 18ホール・ストローク・プレー

3. タイの決定 18ホールを終わり、第1位がタイの場合  
は即日サドン・デスのプレー・オフを  
行ない、第1位を決定する。

4. 参加資格 (1)加盟クラブ会員で数え年70才以上で、  
JGAハンディキャップ22まで。但し、  
未実施クラブは下記計算により20まで。  
(注)JGAハンディキャップをもって  
いない方は、所定の申請書に1年  
以内のベストカード10枚を提出  
して出場資格を取得して下さい。

5. 賞 優勝者 KGA杯(レブリカ)  
2 位 菊 皿  
3 位 “  
4 位 “  
5 位 “  
(全員に参加記念品)

6. 参加料 15,000円  
(注) 締切以後の参加取消しの場合は参加料を返金しない。

7. 申込み方法 参加希望者は所属クラブに参加料を添  
えて申込むこと。  
申込みを受けたクラブは所定の用紙に  
参加料を添え、連盟に申込むこと。  
参加料は「三和銀行東京営業部関東ゴ  
ルフ連盟普通預金口座No380」へ振込み  
のこと。

8. 申込締切日 昭和61年9月24日(水) 17時必着  
締切以後は理由の如何を問わず受付  
ない。

9. 指定練習日 10月17日(金)、21日(水)  
指定練習日を2回定め、うちいずれか  
希望日1回は会員並み扱い、1回は  
一般ビジター扱いとし、希望日を開催ク  
ラブに届け出のこと。  
ビジター扱い日利用の場合、クラブ側  
にスタートを予約することが必要だが、  
出場選手は会員の紹介を必要としない。

## ハンディキャップ委員会

# JGAハンディキャップのすすめ

関東ゴルフ連盟 ハンディキャップ委員会

JGAハンディキャップ(Hdep)制が確立されたのは  
昭和53年9月からで、それ以前1ヶ月以上KGAと  
して十分検討して参ったものです。然し、今日でも  
未だ十分に実行されていないクラブもあり、このク  
ラブ委員会が気易く取組める方法を検討してみました。

1. ホーム・クラブの登録(規定-7、グリーン・シ  
テム2-1)

会員の中には他倶楽部で登録している者もいるの

ですが、当該クラブをホーム・クラブとして  
登録する会員を確保し、この会員は単にHdepの  
みならず、エチケット、マナー等クラブライフ向  
上のモニターとしての自覚を持ってもらえるよう  
指導すべきでしょう。

※規定-7=数クラブに所属するプレーヤーはその  
内の1クラブをホーム・クラブとして登録しな  
ければならない。

※グリーン・システム2-1=グリーン・システム(コ

## ハンディキャップ委員会

ンピューター) を利用するクラブは所定の申込み用紙に記入の上、KGA計算センターに申込みすること。

### 2. スコア・カードの提出 (規定-6)

カード提出には各クラブ夫々独自にすべてのカード提出を義務づけるよう工夫すべきです。例えば、未提出者にはフロントで注意する。提出不良会員にはそのベスト・カードをHdep委員会の権限により適時追加する。

### 3. カード集計について

規定では最少5枚からHdepを査定することになっておりますが、これは適正を欠く恐れがあります。

地区連盟によっては、18ヶ月以上古いカードは採用しないことを明示しておりますが、多少古くとも初めは10枚以上のカード集計を優先すべきでしょう。その後は少なくとも3ヶ月に1枚のカード提出のないプレーヤーに対しローカル・ルールで競技入賞を認めないこともできます。

### 4. ストローク・コントロールを各自に熟知せしめる。(規定3-(4))

グリーン・システムではその必要はありませんが、基本を理解する意味で必要とします。  
※基本3-(4)=ストローク・コントロールにより修正されたスコアである。

### 5. クラブHdepからJGA Hdepへの移行 (概要5-①)

20枚のうちベスト10枚のカードにより査定されたHdepと従来のクラブHdepとの間に差がある時はクラブ内のバランスを考え両Hdepの平均値をHdep委員会の権限で採用することもできます。これを6ヶ月毎に繰り返すことにより18~24ヶ月後にはすべてがJGA Hdepに統一される筈です。又この時はHdep委員会の権限により下記の方法も一案でしょう。

### JGA方式とクラブHdepのアロアランス

Hdep ~12 ±1

Hdep 13~40 ±2

この方法も更に2~3年後にはJGA方式に統一すべきです。

### 6. ハンディキャップ委員会の権限 (急速な上達者等の場合)

規定-9を実際に適用する場合でも資料を基にすべきであり、良いスコア・カードに対し次の範囲で同じカードを追加する。

プレーしたティにおけるコース・レートを把握し

コース・レートに対し  
ネット・スコア 追加カード枚数

0 ~ -3 1枚

-4 ~ -6 2枚

-6 ~ 3枚

### 7. JGAハンディキャップ

上記各項目の手続きにより、ハンディキャップ委員会が決定したHdepは統一されたJGA Hdepとなる。

### 参考 コンピューターの導入 (グリーン・システムの採用)

コンピューターシステムについてはKGAグリーン・システムの他に各クラブ独自に採用している場合もありますが、これからはじめようとするクラブにとってはグリーン・システムが便利です。又、グリーン・システムの長所はホーム・クラブ登録外の会員についても資料が届けられ、会員全体のバランスを計ることが出来ます。従来グリーン・カードに再記入している煩わしさを解消するためコンピューター記入様式のカードをクラブ・カードにすることによってそのままコンピューター処理が出来ます。

又、端末器使用によって更にカード利用料が安価になります。

## 月例競技成績表

[61年3月月例] 参加：男子82名 女子44名 3月28日(金) 於：袖ヶ浦カントリー倶楽部

(男子)

順位	氏名	クラブ	アウト	イン	合計
1	室伏 健二	東 名	37	35	72
2	小出 一 尤	姉ヶ崎	38	35	73
2	飯田 哲男	袖ヶ浦	35	38	73
4	安間 章浩	東京 清	36	38	74
4	波場 イサク	日 大	36	38	74
4	杉田 勇	GMG八王子	38	36	74
	(以上入賞)				
7	大友 富雄	塩 原	35	40	75
7	芹沢 大介	鳥山城	39	36	75
7	内藤 正幸	桜ヶ丘	38	37	75
10	石井 直人	富士平原	37	39	76
10	亀井 隆	唐 沢	40	36	76
10	和田 雅英	東京五都市	36	40	76
10	中山 章	日 大	38	38	76
10	白井 正衛	新千葉	36	40	76

順位	氏名	クラブ	アウト	イン	合計
10	小川 透	岡部チサン	39	37	76
10	中村 清	水 戸	35	41	76
10	田代 昌義	新千葉	38	38	76
18	小山 敏男	青 梅	39	38	77
18	古木 真二	専修大	38	39	77
18	鈴木 軍治	袖ヶ浦	36	41	77
18	大山 四郎	鎌ヶ谷	39	38	77
18	藤田 雅也	岡部チサン	35	42	77
18	新村 ヨシオ	千 葉	37	40	77
18	紺野 照夫	千 成	40	37	77
18	志村 幹夫	大 洗	39	38	77
18	宮 辰夫	習志野	38	39	77
18	佐々 英之	高 根	39	38	77
28	白井 敏夫	総 武	40	38	78

コース・レート 71.3

(女子)

順位	氏名	クラブ	アウト	イン	合計
1	黒沼 カホル	鳥山城	44	38	82
1	吉沢 キミ子	セントラル	41	41	82
	(以上入賞)				
3	水野 女喜子	龍ヶ崎	42	41	83
3	渡辺 恵子	高 根	41	42	83
5	栗田 富代	大厚木	48	36	84
5	中村 友美	東千葉	44	40	84

順位	氏名	クラブ	アウト	イン	合計
5	仁科 敏枝	泉月・佐野	43	41	84
5	湯原 光葉	鳥山城	42	42	84
9	尾崎 久江	武 蔵	41	44	85
10	富沢 照子	武 蔵	44	42	86
10	和田 せつ子	山 山	46	40	86
10	永沢 利永子	入 間	43	43	86
10	中田 朱美	袖ヶ浦	41	45	86

コース・レート 69.0

(注)黒沼カホル、吉沢キミ子氏はタイ・スコアの為4月月例にてプレー・オフを行います。

[61年4月月例] 参加：男子94名 女子56名 4月17日(木) 於：千葉カントリークラブ(野田コース)

(男子)

順位	氏名	クラブ	アウト	イン	合計
1	鈴木 亨	日 大	35	35	70
2	鹿窪 一郎	セントラル	35	36	71
3	佐久間 義雄	姉ヶ崎	35	37	72
3	宮 辰夫	習志野	35	37	72
3	波場 イサク	日 大	36	36	72
3	石井 孝一	上総富士	34	38	72
3	西川 哲	鎌ヶ谷	37	35	72
	(以上入賞)				
8	佐久間 徹二	袖ヶ浦	34	39	73
8	上代 修二	中 山	38	35	73
10	佐久間 馨	東 名	36	38	74
10	中野 弘治	美 善	38	36	74
10	宮本 清	小 川	37	37	74
10	金沢 俊彦	東京国際	32	42	74

順位	氏名	クラブ	アウト	イン	合計
10	小出 一 尤	姉ヶ崎	36	38	74
10	中村 清	水 戸	34	40	74
10	和田 雅英	東京五都市	40	34	74
10	鹿島田 明宏	新千葉	36	38	74
18	岡田 光正	嵐 山	38	37	75
18	根本 太薄	水 戸	37	38	75
18	荒井 準人	専修大	37	38	75
18	高橋 敏	小田原	36	39	75
22	北口 吉明	最上新里	40	36	76
22	小林 勝美	立川国際	37	39	76
22	小川 透	岡部チサン	38	38	76
22	石井 直人	富士平原	38	38	76
22	新村 ヨシオ	千 葉	39	37	76
22	芹沢 大介	鳥山城	39	37	76

コース・レート 70.3

(女子)

順位	氏名	クラブ	アウト	イン	合計
1	吉沢 キミ子	セントラル	37	37	74
2	喜多 麻子	鳥山城	41	36	77
3	湯原 光葉	鳥山城	42	39	81
3	尾関 久江	武 蔵	41	40	81
	(以上入賞)				
5	中村 友美	東千葉	42	40	82

順位	氏名	クラブ	アウト	イン	合計
5	土川 里枝	武 蔵	41	41	82
5	菊地 恵美子	宇都宮	42	40	82
5	田中 千枝子	日 高	39	43	82
5	木村 敏美	藤 岡	40	42	82
10	青木 英子	船 橋	42	42	84

コース・レート 68.9

(注)3月月例プレー・オフの吉沢キミ子、黒沼カホル氏は、吉沢キミ子氏が優勝しました。

## コース・レート

### ●昭和61年5月30日決定

クラブ名	Main Green		Sub Green	
	Back	Reg	Back	Reg
敷島カントリー倶楽部 (4月15日査定)	70.1	68.8	69.3	68.0

クラブ名	Kori		Bent	
	Back	Reg	Back	Reg
鹿沼72カントリークラブ・筑波コース (4月30日査定)	70.1	68.8	69.2	67.8
カントリークラブ・ザ・レイクス (5月14日査定)			72.8	70.0
タイホーカントリークラブ (5月15日査定)	70.9	68.9	72.2	70.0
程ヶ谷カントリー倶楽部 (5月23日査定)	72.6	70.3	71.8	69.6

### ●コース・レート査定スケジュールの件

- ① セントラルゴルフクラブ 8月5日(火) ③ 高麗川カントリークラブ 10月2日(休)  
 ② 鷗ヶ島ゴルフ倶楽部 8月29日(金) ④ 東千葉カントリー倶楽部 10月30日(休)

### ●最上新里カントリー倶楽部コース・レート訂正の件

杉の沢・天王コース 「メイングリーン・バックティ」 70.7 (旧) 70.0

## お知らせ

### クラブ代表者変更のお知らせ

クラブ名	クラブ代表者	
府中カントリークラブ	(新)宮部 甫 (旧)林 恭雄	(新)鈴木正治 (旧)片山 元
霞ヶ関カントリー倶楽部	(新)玉井英二 (旧)下河辺三史	
加茂ゴルフ倶楽部	(新)内田 勇人 (旧)内田 早人	(新)青木 半治 (旧)林 章
伊勢原カントリークラブ	(新)藤井久男 (旧)横塚信夫	
ニッソーカントリークラブ	(新)西山 茂行	(新)大江善次郎
カントリークラブ・ザ・レイクス	(新)小坂善太郎	(新)松野京三
浜野ゴルフクラブ	(新)加藤匡夫	(新)松浦 均

### 倶楽部名称変更のお知らせ

- (新) 玉造ゴルフ倶楽部  
 (旧) 皐月ゴルフ倶楽部 玉造コース

### 倶楽部電話番号変更のお知らせ

- 本千葉カントリークラブ  
 (新) 0472-92-0191  
 (旧) 0472-63-0191

### 理事長変更のお知らせ

- 加茂ゴルフ倶楽部 (新) 青木 半治  
 (旧) 吉永 通雄

昭和61年7月1日 発行KGAニュースNo.15

発行所 関東ゴルフ連盟 東京都千代田区丸の内1-1-1 TEL.(03)215-0511 発行人 細川 護 貞 編集 広報委員会